

第4回 清瀬駅周辺の未来構想ビジョン策定に向けたまちづくり協議会 議事要旨

開催日 : 2025年11月13日(木) 19:00~20:30
開催場所 : 清瀬市生涯学習センター講座室1
出席者 : 別添出欠簿のとおり

1. 開会の挨拶

○松本会長より挨拶

- ・今回4回目となる。資料についてご意見をいただき、まとめに向けて進めたい。本日のまとめはパブリックコメントとして市民の目に触れるため、忌憚のないご意見をいただきたい。【松本会長】

2. 資料確認並びに本日の流れについて説明

○事務局より資料の確認・説明

3. 第3回会議録の公開について

- ・前回の会議録はメール・郵送にて共有したが、再度ご確認いただき、問題なければ後日市のHPに掲載する。【事務局】

4. 前回の振り返りとビジョン素案作成の経緯（将来像と取組内容について）

○事務局より資料の説明

- ・本日みなさまより素案についていただいた意見は可能な限り反映し、1月15日から予定しているパブリックコメントに向けて事務局で整えていきたい。その後3月中に第5回まちづくり協議会を開催し、終了となる。【事務局】
- ・意見の書き漏れなどご指摘はあるか。今後ビジョン策定に繋がる内容であるため、気づいたことがあれば発言いただきたい。【松本会長】

⇒意見なし

5. 清瀬駅周辺の未来構想ビジョン（素案）の説明と意見交換

○事務局より資料の説明

- ・清瀬駅周辺のまちの姿について、「ホッと」の字体によって印象が変わる。【松本会長】
- ・決まった経緯は理解できた。「ホッと」については、熱いという意味と安心する意味の掛け合わせであることを説明しなければ分かりにくい。字体は、個人的には、ひらがなが清瀬に適していると感じる。駅前がリビングという表現には違和感を覚える。また、ビジョンの案自体は素晴らしいが、予算面が懸念される。【委員】
- ・「まち」が二回ある点が気になった。リビングという表現に違和感がある。【委員】
- ・消防と南口商店街の立ち入り検査を実施した。南口の再開発を待っている様子である。建替えも改善もできないため、南口の再開発がどうなっているか毎回質問される。30年規模のビジョンに南口の再開発が含まれていない点について伺いたい。【委員】

⇒再開発は事業手法になる。再開発とは限らないが、南口の課題を解決するためには何か手を打たなければならないということをビジョンでは述べている。【事務局】

⇒抽象的なので、商店街のメンバーへどう共有すればよいかわからない。説明しづらい。【委員】

⇒行政計画は、理念を決めたうえで具体を決めるという順序なので、まずは段階を踏ませていただき、今後詳細を詰めていきたい。【事務局】

⇒南口の課題についてビジョン作成を通じて市に認識されたことは間違いない。この先は商店街としてどうしたいかを考えていくことが次のステップとして必要である。【松本会長】

- ⇒撤退している店舗がある。そのなかで30年規模のビジョンだと、抽象的すぎて方向性が見えない。より具体的に、10年後、20年後の姿を示す内容がほしい。【委員】
- ⇒まずはビジョンを策定したうえで、次の段階で手法や期間、費用等を具体的に検討したい。現時点では、駅周辺をどのようにしたいかについて議論することが必要である。【事務局】
- ・ビジョンは、最初の段階として理念を示したものであると認識している。言葉自体は適切であるが、具体例がなく、将来の姿をイメージしにくい。どのようなことをいつまでに実施すれば30年後に実現できるというステップを記載したほうがよい。【委員】
 - ・ステップを示すことが可能であると考え。また、来年度に直ちに実施すべき事項についてもパブリックコメントまでには示すことができるのではないかと考える。【松本会長】
 - ・実現に向けた整理は第5章で行っているが、より分かりやすく、具体的に示せるようにしたいと考えている。【事務局】
 - ・会長が携わった下北沢駅など、他都市の事例を掲載することはしないのか。普段まちづくりに関わらない一般市民は、まちづくりのスケジュール感が分からないため、過去の事例やステップがあればイメージしやすい。【委員】
- ⇒参考資料に含める等検討する。【事務局】
- ・協議会メンバーは「まちを変えたい」という変革を目指して集まっているので、具体性が欠けていることに疑問を抱いている。ただこの一年は、変えていこうという意識を統一できたことが良かったと考える。【委員】
 - ・市民の中には、現状維持を望む意見もあると考えられる。しかし、大勢の意見および協議会メンバーの意見を踏まえて策定された本ビジョンに基づき、市としては課題の解決に向けて取り組む方針であることを発表する必要がある。今後は、重点エリアの進め方を検討する必要があるため、第5章で説明を強化したいと考えている。【委員】
 - ・駅周辺のビジョンがこれまで存在しなかった中で、今回それが策定されたことには大きな意義がある。第一歩として形になったことは素晴らしく、だからこそ、ワクワクする内容であるべきである。現状ではやや堅い印象があるため、日本や世界の事例を写真などで紹介し、イメージしやすくする工夫が望まれる。6ページの都市構造も唐突な印象があるため、ゾーンごとの方向性を示すことで、ハードとソフトの両面を伝えられると良い。【委員】
- ⇒市民に分かりやすいものとしていきたい。ゾーニングは優先順位でもあり、重点エリアである駅前広場周辺は早急に取り組む必要がある認識である。【松本会長】
- ・南口商店街で消防による立ち入り検査をしたとのことだが、消防が確認すべき問題があるということであるか。そのような事項が資料に記載されていないことに気づいた。【松本会長】
- ⇒確かに建物は古い。資料は綺麗にまとまっているが、我々は見えないコストやリスクに対応している。資料も共有しているが、具体的な進展がないため、来年度までは説明できない状況である。【委員】
- ・色がついていない部分についても商店街やっている人もいるし、自分の商店街でも集まって取り組みを議論することがある。また、中央公園（夢空間）が来年2月にオープンする。期待や魅力も感じているので、動線や重点エリアから流れる人たちを考えることが重要である。古い家を借りて民泊をする事例などもあり、駅から離れていても面白いまちにしていきたい。【委員】
 - ・今回の意見を踏まえ、パブリックコメントを実施する予定であるが、協議会メンバーもパブリックコメントを通じて意見を述べることは可能である。また、第5章については、早期に作成できた場合には協議会メンバーに確認いただく予定であるが、作成が間に合わない場合には、会長による確認とする。【松本会長】
 - ・パブリックコメントの市民への周知方法は、どのように実施されるのか。一人でも多くの市民に見てもらったほうが良いと考える。【委員】
- ⇒1月の市報で告知し、HPでもお知らせを掲載する。各公共施設にビジョンの素案を挟んだファイルを設置する。SNSや一斉配信のメールでご案内し周知する予定である。広く周知できるように対応したい。【事務局】
- ・直近での気づきは今週中に事務局に意見いただくとありがたい。【松本会長】

6. その他

○事務局より資料の説明

- ・11月16日（日）までに意見を収集する。【事務局】
- ・1月15日から1か月間、パブリックコメントを実施する予定である。2月には寄せられた意見を収集し、事務局にて整理を行う。3月に開催予定の第5回まちづくり協議会において最終案を提示し、次年度以降の取り組みについても説明を行いたい。なお、ビジョンの策定完了は3月末を予定している。【事務局】

以上